

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	富岡ホーム	階数	地上3階
建設地	伊勢原市西富岡字九沢1325 - 7	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	102 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2013年12月20日
敷地面積	2,671 m ²	作成者	株式会社 安江設計研究所
建築面積	1,022 m ²	確認日	2013年12月20日
延床面積	2,668 m ²	確認者	株式会社 安江設計研究所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: A: B+: B: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他 0
Q1 室内環境 界床遮音性能(重量衝撃源)はDr-50。昼光率は、共用部2.5%以上・宿泊部1.25%以上。カーテン・庇により glare を制御。内装材はFを全面的に採用。自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上。喫煙室を設け非喫煙者への煙対策を実施。	Q2 サービス性能 個室10m ² /床以上でゆとりのある空間形成をしている。トイレ・喫煙室等の床はビニル床シートとしメンテナンスへの配慮を実施。厨房排気ダクトの外部露出にSUS製を採用。非常用発電設備を設置している。機械・配管支持方法は耐震クラスAである。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽を実施し、良好な景観を形成している。敷地の境界には、見通しのよいフェンスを採用し、防犯への配慮をしている。屋上に機械置場を設け、建築物の高い位置からの廃熱放出に努めている。
LR1 エネルギー ヒートポンプ技術を用いた高効率の空調設備・LED照明設備を採用し、省エネルギーに努めている。	LR2 資源・マテリアル 節水コマに加え自動水栓を採用し、節水に努めている。再利用できるユニット部材のOAFロアを採用している。軽鉄下地の天井とし、躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ : 69%である。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと。評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。